

## 令和3年度

## 事業報告書

特定非営利活動法人  
バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター

### 1 事業の成果

朝日小学生新聞に掲載された「手話のパスポート」の編集協力をおこなった。厚労省が募集した「難聴児の早期発見・早期療育推進のための基本方針(案)」に関するパブリックコメントを、ろう者が手話で意見を出せるようにDVDでの意見提出支援をおこなった。令和4年9月には国立民族学博物館で開催中の特別展「Homō loquēns『しゃべるヒト』～ことばの不思議を科学する～」に開発中の「手話から辞典」を出展した。ろう児の保護者及び一般受講生を対象にする「日本手話」の文法を学ぶ手話教室は、令和2年4月から感染拡大防止のため休講中だったが、令和4年4月期も引き続き休講となった。難聴児のお子さんをもつ保護者向けに「聞こえなくても大丈夫！人工内耳も手話も」を3月に出版。一般社会への日本手話普及のために販売中の「日本手話のしくみ練習帳」と日本手話の言語学テキスト「日本手話のしくみ」は引き続き好評を博している。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

（事業費の総費用【 1,690 】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
ろう学校及びろう児の保護者への支援事業	ろう児の子育て・教育相談・「手話のパスポート」の編集協力	年数回 随時	東京・従事者自宅／事務所など	6名	ろう児の保護者・手話学習者	約100名	946
	「手話から辞典」作成・民博展示	月数回	従事者自宅／事務所など／大阪	10名	ろう児・保護者・ろう学校関係者・一般市民	約250名	
	PC遠隔情報支援／文字通訳者練習会	年数回 随時	従事者自宅／事務所など	30名	ろう児・保護者・ろう教育関係者	約100名	
	パブコメ送付支援	年数回	従事者自宅／事務所など	6名	ろう児・保護者・ろう教育関係者	約100名	
教育研究事業	「手話教育」の教材研究	年数回	東京	5名	ろう児・保護者・ろう教育関係者	約100名	42
ろう教育情報提供事業	実践内容等のHPでの公開 広 報活動	随時	事務所	10名	ろう児・保護者・ろう教育関係者・一般市民	約100名	42
文化交流事業	NPOとの協働・交流	年数回	東京	5名	一般市民	約300名	42
日本手話普及事業 (商品販売・収益事業)	日本手話学テキスト「日本手話のしくみ」「日本手話のしくみ練習帳」等の販売	随時	法人事務所など	6名	一般市民	約1000名	618
	サーバレンタル	随時	法人事務所など	3名	一般市民	約1000名	

#### (2) その他の事業

（事業費の総費用【           】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
該当なし					

